

おんな & おとこ とっぎゃざー

個性が輝く
まちが輝く

みんな仲良く一緒に

2018.9.第19号



輝くひと

あだち らいと

安達雷斗さん(筑後市)にインタビューしました! 2

☆男性専科「パッククッキングで簡単料理」..... 3

☆男女共同の視点からの避難所運営 4

☆なかつた花公園・川柳・絵手紙作品表彰・編集後記 5~6



情報誌「とっぎゃざー」は、男女ともに個性と能力が十分に発揮できる八女市を願って名付けました。

輝くひと

福岡県立福島高等学校 生活デザイン科

3年生 安達 雷斗さん



創立100年を超える福岡県立福島高等学校。生活デザイン科（以前は被服科、生活文化科でした）で初めての男子生徒。興味のあるファッションについて学ぶことが出来るということで迷わず受験を決めたそうです。優しい性格で柔らかい雰囲気の安達さんは、女子ばかりのクラスの中にも溶け込み、仲良くできているそうです（^^）今は、11月に行われる校内の文化発表会のファッションショーで披露するシャツ・ズボン・ジャケットの制作に励んでいる安達雷斗さんに取材にに応じていただきました。

《取材日2018年6月6日》

— 福島高校生活デザイン科の特徴を教えてください。

普通教科の授業もありますが、家庭科を中心に学ぶことが出来ます。調理や保育・被服といった家庭科に関する科目全般を学びます。また、学校独自の生活教育という科目で、茶道や華道も学びます。3年生は、29人で1クラスです。2年生から、進路に応じて、ファッションデザイン・フードデザイン・ヒューマンサービスの3つのコースに分かれます。



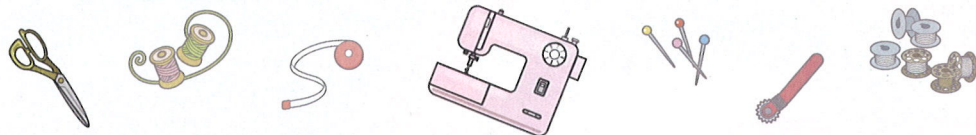
Tシャツリメイクバトル大会出場



春の広川餅まつりファッションショー



被服製作「ゆかた」



専門科目（家庭科）の授業では、少人数の実習で一人ひとりのレベルに合わせて教えてもらえます。

私は、ファッションコースを選択して好きな被服製作をしています。ショートパンツやシャツ、甚平等など作って自分で行ったりすることもあります。福岡市で行われたTシャツリメイクコンテストに3人1組で出場したり、広川町のかすり祭りのファッションショーのステージに出たりしています。

— 生活デザイン科受験の動機を教えてください。

私は、中学生の頃から洋服や髪型に興味がありおしゃれが好きで、ファッションについてもっと学んでみたいと思いました。

— ご家族の反応はいかがでしたか？

家族も皆賛成してくれました。特に母が一番理解し応援してくれました。

— 入学して良かった点、困った点を教えてください。

ファッションの事だけではなく、他に調理など家庭科全般を学べるので、この先一人暮らしをすることになった時、食事の支度等、生活に役に立つな、と思いました。



調理実習授業

困ったことは、女子の中に男子が一人という環境でクラスに馴染むまで大変でした。初めは気を遣うことも多かったのですが、今ではすっかり

りクラスに馴染みました。お互いにおまわり気も遣わなくなりました。（笑）思っていた通りの勉強ができて満足しています。

— 八女市では「社会通念・慣習・しきたりにおける男女の平等感」のアンケートで、「男性が優位」と回答した人が約79%を占めました。高校生活を通して男女の平等感の差を感じることはありますか？

授業や実習の中で不平等を感じるということはありません。唯一、体育の授業は体力面の男女差を考慮してもらった結果、他クラスの男子の授業に入ってもらっています。あと修学旅行での班は、他クラスの男子に入れてもらいました。

お弁当も、他クラスの仲の良い男子と食べていますが、自分のクラスの女子の中で食べても全然かまわないですよ（笑）

— 卒業後の目標はありますか？

高校生活で学んだことを生かして専門学校に進学を考えています。今は勉強を一番に頑張っています。

将来は、人の役に立つ人になりたいです。

— 最後に、今、進路を考えている中学生へ一言お願いします。

福島高校生活デザイン科は、授業内容がとても充実していて、様々な実習も多く、楽しく学べる環境です。興味のある方、ぜひ入学を検討してくださいー



ファッション造形製図授業

男性専科

バッククッキングで 簡単料理

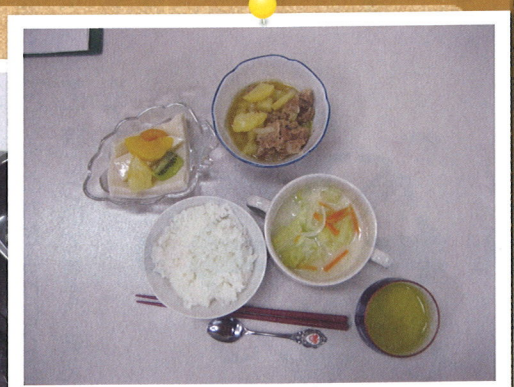
去る6月23日、上陽公民館において、公民館講座の一つである「男性専科」で災害時の対応食「バッククッキングで簡単調理」の調理実習がありました。ポリ袋（熱に強い高密度ポリエチレンの袋）を使い、短時間の加熱で温かい食事を作る調理法です。

講師は食生活改善推進会（食進会）の皆さんで、私たち上陽町男女共同参画推進委員会からも数名参加しました。

今回は、「ごはん」「肉じゃが」「野菜のクリームスープ」の3種類を作りました。4つのテーブルに各4名ずつに分かれ、レシピの説明と注意点を食進会の方よりを受け、調理に入ります。出来上がった料理を試食後、「食進会の方より指導してもらった後、男性だけで調理し緊張したけど力を合わせて作りとても楽しかった。」

「食材をポリ袋に入れて空気を抜き、上の方で結ぶのが難しかった。」

「対応食をもっと回しないうまくいかん。またこういう機会を食進会や男女共同参画推進会でも作ってください。」といった感想が出ました。



バッククッキングで簡単調理

ポリエチレン製のポリ袋（高密度ポリエチレン）の無地でマチのないものを使います。

- 高密度ポリエチレン（HDPE）**
特徴：半透明でフィルムが硬く、コシがあり、引っ張り強さに優れる
耐熱温度：融点は150℃で、湯煎には耐えられる
- 低密度ポリエチレン（LDPE）**
特徴：透明性があり、耐衝撃性に優れる
耐熱性：融点は110～120℃、実用温度はそれより低く、耐熱性に劣る



シャカシャカ音がする半透明の袋の方です。

注意

1袋に入れる量は1～2人分を目安にします。
加熱すると袋が膨らみますので、入口の方でしっかり結び、食材は厚さが均等になるようなるべく平らに入れます。
中で膨れるもの以外はポリ袋に食材・調味料を入れたら中の空気をしっかり抜きます。

出し入れの際は「やけど」に注意！



水圧を利用する方法がおすすめ



結び目は上のほうで



熱が通りやすいように広げます

バッククッキングの利点

- 1 半真空調理なので調味料が少量ですむ。味のしみ込みが早い
- 2 袋ごと冷凍ができ、電子レンジにもそのまま使える
- 3 袋ごと調理するので鍋などの洗いが少ない
- 4 鍋や火口が少なくても、多品目のメニューが一度にできる
- 5 電気ポットや炊飯器でもできる
- 6 食物性アレルギーでも安心

①ごはんとお粥

材料名	1人分	作り方
ごはん		
米	80g	①米は洗っておく
水	100cc	②ポリ袋に分量の水を加え、空気を抜き、袋の上の方で結ぶ
お粥		③鍋に湯を沸かし、②を入れて約20分加熱し、10分ほど蒸らす。
米	40g	
水	200cc	



②かぼちゃ煮

材料名	1人分	作り方
かぼちゃ	100g	①南瓜は食べやすい大きさに切り、面取りをする。
濃口醤油	小さじ1杯	②ポリ袋に南瓜と調味料を入れ、袋の空気を抜いて結ぶ
きび砂糖	小さじ1杯	③鍋に湯を沸かし、②を入れて約20分加熱する。
水	大さじ1杯	
かつおぶしの粉	小さじ1/2杯	



③肉じゃが

材料名	1人分	作り方
豚こま切れ	100g	①ポリ袋に豚肉と片栗粉を入れ、よくもむ。
片栗粉	小さじ1杯	②ひと口大に切ったじゃがいも、人参、玉葱と調味料をポリ袋に入れ、空気を抜いてポリ袋の口をしっかりと結ぶ。
じゃがいも	中1個	③鍋に湯を沸かし、②を入れて約20～30分加熱する。
たまねぎ	中1/6個	
人参	中1/4本	
濃口醤油	小さじ2杯	
きび砂糖	小さじ2杯	



④炊き込みごはん

材料名	1人分	作り方
米	75g (0.5合)	①人参はみじん切りにする。
えのきの瓶づめ (小)	1/4瓶	②材料と調味料をポリ袋に入れ、空気を抜いてポリ袋の口をしっかりと結ぶ。
しめじ	1/8パック	③鍋に湯を沸かし、②を入れて約20～30分加熱し10分蒸らす。
人参	10g	
鶏肉	20g	
水	80cc	



男女共同の視点からの避難所運営



9月1日は防災の日です。もしも災害が起こって、避難所生活を余儀なくされた時、男女共同参画の視点に立った避難所運営について考えてみましょう。

東日本大震災や熊本地震では平成23年の東日本大震災発生直後の避難所では、「更衣室や授乳室がない」「女性に必要な物資が不足している」「女性だからということで当然のように食事準備や掃除等に割り振られた」といった女性や子育て家庭への配慮に欠けていたことが課題として上がっていました。

そこで国の第4次男女共同参画基本計画では男女共同参画の視点を取り入れた防災・復興体制の確立が施策の基本的方向として掲げられました。しかし、平成28年熊本地震においても男女共同参画の視点が不足していたため、女性の視点に配慮した対応が遅れたり、不十分だった避難所もあったとの声がありまだまだ十分な課題解決にはつながっていません。



避難所運営にも女性の参画を避難所の運営担当者が男性中心で、女性や若者の要望や意見を言う場がなく、必要なものが手に届かなかったりといった過去の災害の教訓から、人権に配慮し、性別・年齢・障害や病気の有無、国籍等を問わず、全ての被災者の立場に立つて、困難を低減し、速やかに復興できるように環境を整えていくことが大切になってきます。

男性と女性では困難な事柄やニーズが違ふことや育児等の多くを女性が担っている現状から、被災者の健康・生活維持と要配慮者支援のためには女性の避難所運営の参画が必要だと考えられています。

いつ、何処で起こるか分からない災害だからこそ日常から「自分のできる事」「家族のできる事」「近所と力を合わせてできる事」等について考え、備えが大切です。

部屋の総点検をする

◎家具やテレビの転倒防止

◎ガラスが飛び散らないように、飛散防止フィルムを貼る。



今日
からでも
できる事

ふだんからの地域のつながり

◎あいさつや声かけ

◎行政区等の行事に積極的に参加する。



家庭や職場に常備するもの

◎履きやすく脱げにくい靴、雨や防寒のためのレインウェア

◎ペットボトル、常備薬、スベアの眼鏡、通帳や証券等の控え番号を記したメモ



情報発信の方法を知っておく

◎災害用伝言ダイヤル、ケータイ災害用サービス等の確認



女性の視点からそろえておく便利なもの

帽子、マスク



帽子は頭を守り、洗髪できないときに髪をまとめる事ができる。マスクは化粧していない顔で人前に出るストレスを軽減できる。

笛(ホイッスル)



閉じ込められたときに居場所を知らせることができる。危険に遭遇した時助けを呼ぶことができる。

パンティライナー

下着の替えがない時にこまめに交換できて便利

オールインワン化粧品

一本で化粧水やクリームの役目があり、肌が乾燥し荒れた時に便利

なかた花公園



国道44号線の北側、くろぎ大藤祭り会場の数百メートル西側に小さな花壇があります。これが『なかた花公園』です。市(旧黒木町)の遊休地で、かつては残土置き場でした。景観も悪く、『町の通りにふさわしい姿に変えたい』と行政からの協力要請が十年ほど前にあり、町づくり団体の代表で話し合った結果、花壇を造ることになりました。まず『芝ざくら』に挑戦しましたが、手入れが想像以上に難しく、二〜三年で断念。スタートに戻り、土づくりからやり直しました。知り合いの造園屋さんに土を入替えて頂いた後、季節ごとに葉ボタンやパンジー、会員が苗から作ったガーデナムを植え、多くの方から『きれいな花が咲いたね』と嬉しい言葉を頂くようになりました。この間、地元自治運営協議会からは苗木購入の助成や草取り作業の協力を頂き『地域共同の力でつくる公園』に育っています。

しかし、会員や地域住民の高齢化を考慮すると今までのような作業の繰り返しでは続かないと思い、これからの公園の運営について再度検討したところ、『草取り』と『年二回の花苗植え』が大きな負担になっていると意見がありました。そこで全面積の半分ほどを草花から花木に替え、残る草花も一年草から球根に毎年少ずつ変えています。このように試行錯誤を重ね、失敗を繰り返しながら、時には花より雑草の勢力が強い公園を見てため息が出ることもあります。六月から七月にかけてはオタフクナシとアガパンサスのコントラストが見事です。来年の大藤祭りには、中心部に植えたサツキが咲くことを祈っています。

当初に比べれば負担はかなり減少しましたが、年数回の草取りは大変です。しかし地元西今自治会の協力は大きな力となっています。『私が輝き、共に輝く、なかた花公園』が、『地域共同』のシンボルとなる事を願っています。これからも活動を続けたいと思っています。





最優秀賞



内田節子さん



ありがとう あなたと私の 合い言葉

谷川 敏子さん

最優秀賞

優秀賞
いたわりで 相手や周囲を思いやる

優秀賞

田中サダエさん

我が家では 妻にやりたい 栄誉賞

優秀賞

馬場 裕士さん

八女市男女共同参画上映会
9/15(土) 会場 おりなす八女
13:00 開場 13:30 開演 13:40 上映



幼な子
われらに牛まれ

[illegible]

9/15(土) 会場 おりなす八女 ハーモニーホール
13:00 開場 13:30 開演 13:40 上映(127分)

主 催 八女市男女共同参画推進ネットワーク実行委員会 八女市
問い合わせ 八女市男女共同参画推進係 男女共同参画推進係 0943-23-1314

問い合わせ 八女市男女共同参画推進課
男女共同参画推進係 ☎0943-23-1314


$$\begin{array}{c} | \\ \cdot \\ N \end{array}$$

無事救出された少年たちの笑顔にほっと胸をなでおろすと同時に、国も宗教も肌の色も習慣も違う人々が、ひとつの目的のために協力し、奇跡が達成された事に感動を覚えた。

タイ北部で、秘境洞窟に、サッカー少年13人が閉じ込められたニュースが連日報道された。当初、救出に数カ月を要すると言われていたが、日本を始めアメリカやヨーロッパ等の専門家が集結し、20日を待たずに全員(の救出が告げられた。少年全員が我がままを言わずコーチの指示に従い少ない食べ物分け合ったという。

編集後記